



纏 まとめ

2015. 秋号

辞令交付式

4月10日の午後6時から、ホテル銀河にて、平成27年度
の本部長・分団長・副分団長・
部長・班長及び新入団員の辞
令交付式が行われました。当
日は分団長以上が出席のなか、
団長より辞令の交付を受け、
気持ちも新たに、これからの
消防団活動に一層励もうとす
る決意が感じられました。



君津支部消防操法大会

(公財)千葉県消防協会君
津支部主催「第36回君津支部
消防操法大会」が、7月4日
(土) 袖ヶ浦市長浦消防署に
て開催されました。

この大会は、「自分たちの
まちは、自分たちで守る」と
いう精神のもと、消防技術の
普及向上と消防団員の士気高
揚を図り、地域防災体制の確
立に役立てることを目的とし
て毎年開催され、君津地区各
市(木更津市・君津市・富津市・
袖ヶ浦市)の代表が日ごろの
訓練の成果を競い合います。
木更津市からは、ポンプ車
の部に4分団3部、小型ポン
プの部に2分団5部が出場し
ました。

大会の結果

《ポンプ車の部》

- ▽優勝 袖ヶ浦市消防団
- ▽準優勝 富津市消防団
- ▽第三位 君津市消防団
- ▽第四位 木更津市消防団
- 《小型ポンプの部》
- ▽優勝 君津市消防団
- ▽準優勝 富津市消防団
- ▽第三位 袖ヶ浦市消防団
- ▽第四位 木更津市消防団

出場チーム紹介

《ポンプ車の部》

4分団3部(久津間)

指揮者 三浦慶祐 一番員 近藤祐基
二番員 時田裕介 三番員 岩崎弘樹
四番員 三浦麻希 補助員 高浦 健

部長コメント 三浦 慶祐

今年度、君津支部消防操法
大会に出場して、結果は満足
出来ませんでした。が、無事演
技が出来たのも4分団をはじめ
ご支援があったお陰と本当に
感謝しております。

また、部としても今回の大
会を通して良い経験となりま
した。

来年も良い成績が残せるよ
うに頑張っていきたいと思っ
ます。



4分団3部 出場選手

《小型ポンプの部》

2分団5部(上烏田)

指揮者 井上大輔 一番員 鈴木竜馬
二番員 中村幸二 三番員 嶋野幸雄
補助員 嶋野鉄也

部長コメント 石井 崇文

今回の君津支部消防操法大
会出場に向けて、選手をはじめ
め団員や分団役員にとっても
大変な訓練でありましたが、
団結力により乗り越えられた
と感じております。

また、消防署員の方々の熱
心なご指導により、選手一同
が向上出来ました事に感謝し
ております。

結果は不本意ながら訓練の
成果を出す事が出来ませんで
したが、この訓練を活かし防
災の向上に繋げて行きたいと
思います。



2分団5部 出場選手

アクアラインで 災害にあったら



高速道路にて、事故や災害に巻き込まれたら、あなたはどうか行動しますか？圏央道や館山自動車道、アクアライン、木更津市にはいくつもの高速道路があります。その中でも、通勤やレジャーでアクアラインを通行する機会が増えてきたと思います。トンネルという密閉された空間で、事故や災害に巻き込まれたら？身を守る知識として、覚えておいて欲しい事をいくつかご紹介いたします。

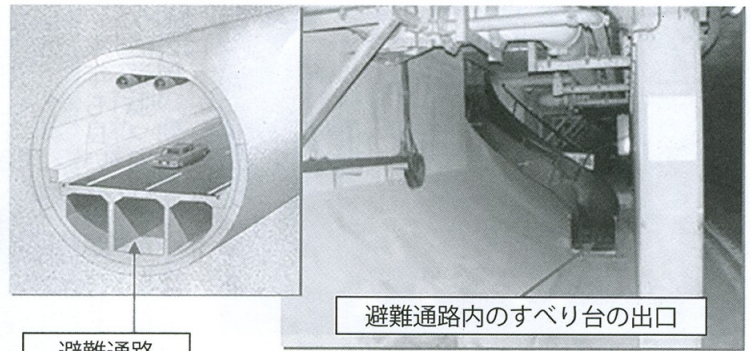


道路公団へ連絡をし、車外に到着を待っていました。しかし、故障車の横を猛スピードで車が走行するのを見て、怖くなり壁側の一段高くなった場所まで避難をしました。

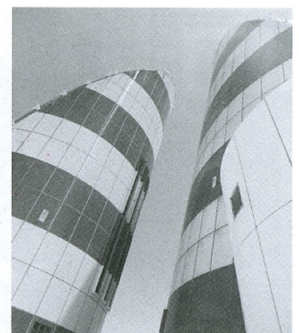
この場所は、壁面清掃用に設けられた場所ですが、避難通路や消防隊侵入口など色々な設備がある場所でもあります。故障車の前後で、救助を待つ場合は、前方不注意による、追突事故など、二次災害の危険があります。ニュースなどでも取り上げられる死亡事故などもあり、安全な場所に避難する事が第一です。避難時には、避難通路を使用する事ができます。300m毎に設置されている非常口をスライドさせると、床版下（しよばんか）と呼ばれる道路の地下にある通路へ降りるすべり台があります。地下へおろると、非常用電話がありますので、受話器を取ると自動的に交通管制室へ繋がりますので、地下にいる事を伝えましょう。

床版下という、聞き慣れない言葉が出てきたところで、アクアラインの防災設備について説明します。

まずは、トンネルの構造ですが、東京湾の水深25mの土の中に掘られています。厚さ65cmのセグメント、35cmの鉄



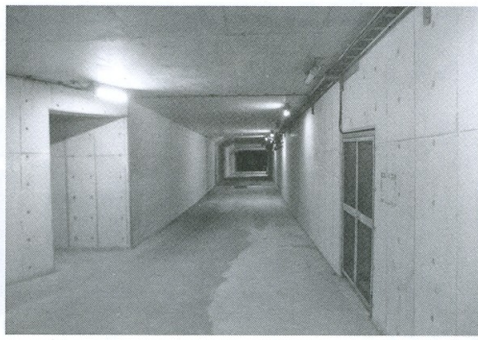
筋コンクリートの二重の外壁で囲まれています。この外壁のおかげで、地震の際、揺れを吸収して逃がすとされています。また、アクアトンネルの入り口付近の海拔はおおよそ6mで、津波の際の海水が進まない様に作られています。東日本大震災時は1.5m〜2mの津波でしたので、海水の進みはありませんでした。また、想定されている南海トラフの予想津波は4mで、こちらも問題無いとの事です。



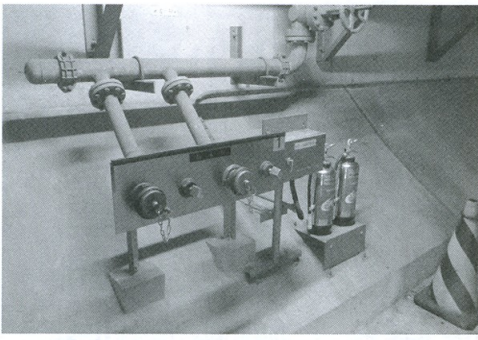
川崎人口島（風の塔）

トンネル内には、大きなファンで風を送り、トンネル内の圧力を上げる仕組みがあります。上り車線を例にあげますと、海ほたるから、車の進行方向に、風を送りトンネル中央付近の風の塔にて吸い上げます、フィルターを通して綺麗にした空気を再度、浮島出口方面へ送り出します。下り車線はこの逆を行う事によって、トンネル内で火災が起きた際の、煙の流れをコントロールしています。このおかげでトンネル内が煙で充満する事が無い様になっています。また、床版下にも、同じ様に風を送り圧力を上げる装置があります、こちらは大きな扉で密閉する事によって、アクアトンネル内よりも高い圧力を保つ様にしており、避難時に煙が入らない様な仕組みになっています。

アクアラインには、他にも様々な防災対策が施されています。使用する機会が無いことが一番ですが、事故や災害が発生した場合には、トンネル内の電光掲示板やハイウェイラジオ等でいち早く情報を得ることで、災害を回避したり、避難することで自分の身を守りましょう。



避難通路



消火設備（避難通路に設置）



「救急活動に消防ポンプ車も出動します！」

消防隊と救急隊の連携による救急活動（P A連携）を行っています。

P A連携とは？消防ポンプ自動車（P u m p e r）と救急自動車（A m b u l a n c e）が連携して救急活動を行うことの総称で、双方の頭文字から「P A連携」と呼ばれています。年々、救急出動件数は増加傾向にあり、消防車と救急車が連携して一刻も早い救急活動を実施し、救命率の向上を図ろうとするものです。救急要請を受け、通報内容から患者の容体が危険であると判断され、救急車よりも消防車の早い到着が見込まれる場合、救急車の他に、現場に最も近い消防署から消防車も出動させ、救急車の到着まで消防隊員が応急処置を実施するほか、傷病者の救出・搬出な

どを行います。

消防車が出動するときは救急車よりも、消防車が早く到着することが見込まれます。いち早く応急処置が必要な場合などに、出動します。

・心肺停止が疑われる場合
・気道に異物が詰まった場合
・大出血、広範囲熱傷などの場合

P A連携活動の際は、消防ポンプ車隊は、救急隊が到着するまでの間、救急資器材を活用した救急処置を行います。救急隊が到着した後は、消防隊は、救急隊の支援にあたります。病院への搬送は、救急車が行います。

救急車を要請された場合でも、P A連携出動時には、消防車がサイレンを鳴らして救急現場に出動します。「救急車を呼んだのに消防車が来た！」と驚かれる事もあるかもしれませんが、「ご理解とご協力をお願いします。」

サイレン音は、「ウーカウーカ」ではなく、「ウーカウー」音で、鐘はなりません。



燃えないゴミの収集作業中に、「スプレー缶」「カセットボンベ」などが原因と思われる、ゴミ収集車の火災事故が発生しています。また、収集後にクリーンセンターでも爆発・火災が発生しています。

爆発・火災事故の原因は、中身の残っている「スプレー缶」や「カセットボンベ」などからのガス漏れ、「ライター」の発火などが引火を招いたものと思われます。火災が発生すると、収集作業に遅れが生じたりゴミ収集車や処理施設が使用不能になることもあります。また、最悪の場合には、死傷者がでる可能性もあります。

「スプレー缶」や「カセットボンベ」「ライター」などの発火の危険性があるものをゴミとして出す場合には、中身を使い切り火気のない風通しの良いところで残ったガス

を放出後、穴を開けてから燃えないゴミとして出してください。

使い切った後もガスが残っている可能性があり、穴を開ける際は充分注意してください。

ガステーブルや、カセットコンロなどの点火が電池式のものには必ず電池を抜いてください。



平成27年火災件数

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
建物	2	3	2	4			2		13
林野									0
車両	1	3		1			1		6
その他	1		1						2
合計	4	6	3	5	0	0	3	0	21

幹部視察研修

6月14日・15日の2日間に渡り宮城県方面での視察研修を実施しました。まず、平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、壊滅的な被害を受けた宮城県名取市の閑上地区を訪れました。



名取市閑上地区の様子
ゆりあげ

大震災から4年以上経過しましたが、未だ津波の爪痕が残る現状を目の当たりにして、災害の恐ろしさをまざまざと感じるとともに、復興にはまだかなりの時間を要するということでした。その後、「閑

上の記憶」というプレハブの建物にて震災当時の説明を受け、犠牲となられた方々へのご冥福を祈り、慰霊碑に献花を捧げました。



閑上の記憶 慰霊碑
ゆりあげ

翌日は陸上自衛隊東北方面総監部を訪れました。東日本大震災時の初期活動における対応の難しさ等の説明があり、災害が発生した時の初期の行動がいかに大切かを痛感しました。

2日間ではありましたが、災害の恐ろしさを学ぶと共に、地域を守っていくために、日々訓練を重ねることの重要性を痛感しました。

全国員研修

5月10日に、全国員による研修会が開催されました。木更津市の消防団組織は、1団本部、8個分団、39個部となっており、ひとたび火災等の災害が発生した場合には、全国員が組織的な消防活動を行うことが求められます。

年度当初に全国員研修を実施することにより、消防団の経験年数や階級及び役務に応じた知識や技能を習得し、組織的活動の基礎を身につけるのです。

幹部研修では、部長以上を対象に消防団幹部として、物事を深く見通し本質をとらえ、適切な判断力を養い、また、団員の士気高揚を図るための心得を学びました。

機関員講習では、消防ポンプの運用及び消火栓の取り扱い等を学び、火災現場で使用する機関を実際に操作しました。

規律訓練では、新入団員をはじめとする消防団員の規律の保持と気力の充実を図るため、各小隊に分かれ訓練を実施しました。

お知らせ

早出し放水競技大会

11月8日(日)に旧木更津市役所西側駐車場で第38回早出し放水競技大会が行われます。大会の目的は、火災が発生した際に、「早く水を出す」・「早く火を消す」の重要性を主眼としたもので、実際に吸水から放水までを、迅速・的確・安全に行え、併せて消防技術の向上を図る事を目的として行われています。

地域の 防災リーダー

皆さんは「消防団」を
ご存じでしょうか？

消防団員は、日頃は各自の職業に従事し、いざ災害が発生した時には、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、火災・風水害等出動をはじめ、予防活動・各種訓練等の防災活動を行いながら、市民の身体・生命、財産を守るために活躍しています。

入団するには？

木更津市に居住、在勤、または在学する18歳以上で、健康な人なら男女問わず入団できます。

問い合わせ先

木更津市消防本部消防総務課
☎(22)0119
またはお近くの消防団まで

